

■「木育」の活動実施計画書の作成

「木育」活動を実施する際に、計画段階から実施のふりかえりまでを記入してご利用ください。

「木育」の活動実施計画書

1. 基本情報		計画書作成日	年 月 日
活動計画・設計者			
受講者（対象）		所属	
（関連行事名）			
開催期日			
開催時間		実施回数	回
会場			
参加料			
参加条件			
持参するもの			
備考：			

2. 活動の「ねらい」の決定			
1) 予想される受講者の木工工作の経験、知識・理解の状態			
2) 活動の構成要素（ねらいにしたい重要な要素、体験させたい、知って欲しい、など）			
3) 決定した主要なねらい（できるだけ具体的に、簡潔にまとめる。）			
4) 主要なねらいを支える活動・要素（主要なねらいを達成するために行うべきこと）			
1		ステップ	
2		ステップ	
3		ステップ	
4		ステップ	
5		ステップ	
5) ねらいにそった内容の選択（「木育アクティビティシート」から活動内容を選択します）			
1			
2			
3			
4			
5			

3. 活動の具体化（複数回に分けて実施される場合、本表をコピーして使用してください）

1) 今回のねらい（終了後の受講者の学習成果を具体的に書いておきましょう）

2) 主要なねらいを支える活動・要素
（ねらいが達成されるために必要なことを書き出しましょう）

3) 具体的な活動内容
（例えば、「木育アクティビティシート」から活動内容を参考として選択しましょう）

4) 使用する材料、工具、機械（主要なものをリストアップしておきましょう）

5) 指導上の注意すべき点
（指導者や運営側での確認事項、安全確認、受講者への特別な配慮等）

4. 実施環境の確認

1) その他、実施環境に展示するもの、掲示するポスター、資料など

2) 実施環境の留意事項（安全管理体制、緊急時の対策、施設の管理者からの指示内容等）

備考

5. 指導体制と役割

分担	氏名	主要な役割	備考
主指導者			
副指導者			

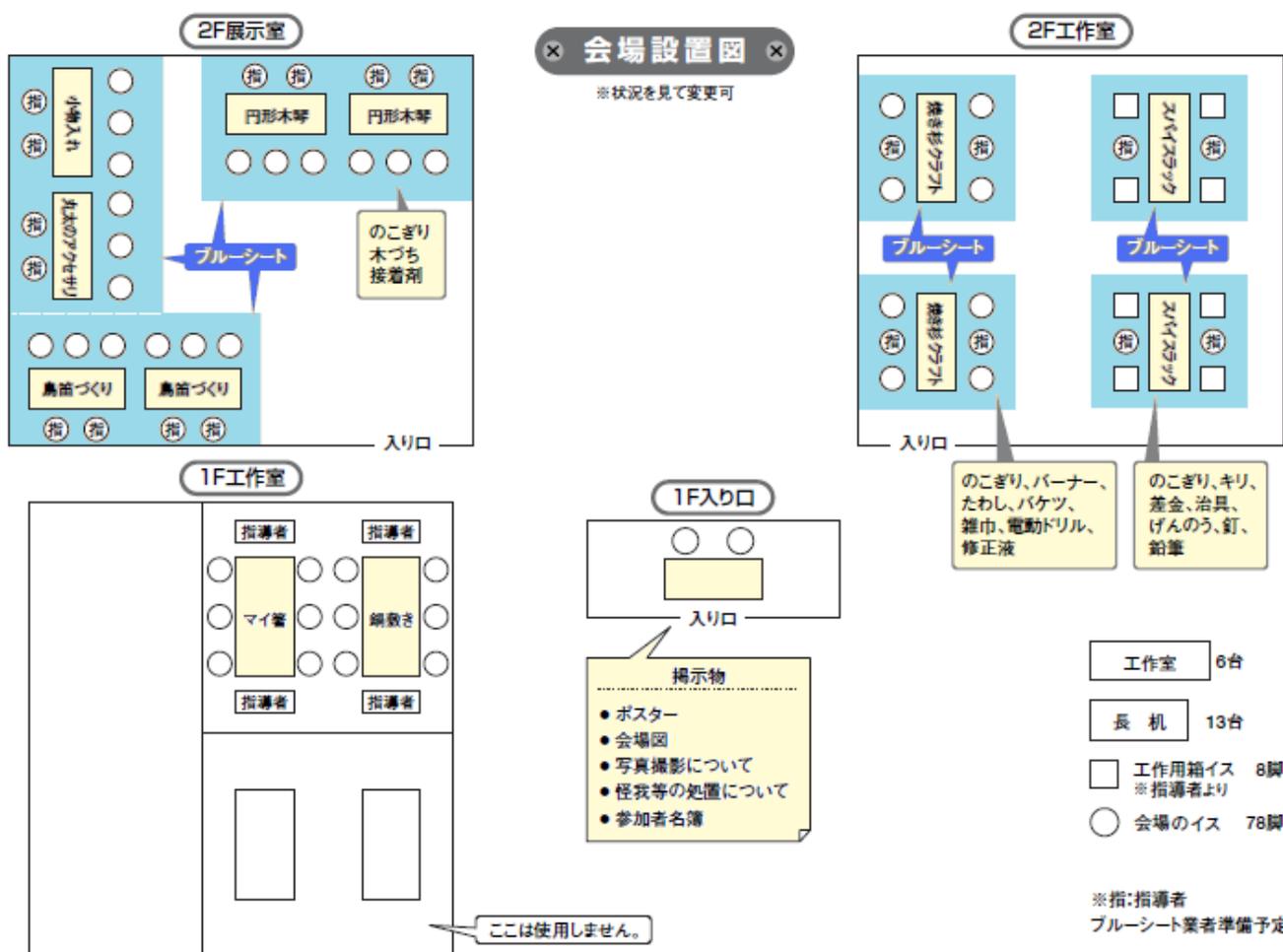
6. 活動の展開（時間にそった活動内容を工程表にまとめておきます）

工程	時間	活動内容（受講者への働きかけの仕方）	指導者の留意点
工程1 はじめ			
工程2			
工程3			
工程4			
工程5 まとめ			

指導者の担当割り当て表の例

参考資料 スタッフ配置、会場設置の例

NO	ブース名	主指導者	場所	副指導者 1	2	3	4	5
1	スパイスラック		2F 工作室					
2	焼き杉クラフト							
3	円形木琴		2F 展示室					
4	丸太のアクセサリ							
5	鳥笛							
6	小物入れ							
7	マイ箸		1F 工房					
8	鍋敷き							
受付・その他			1F 入口		-	-	-	-



■小学生・中学生に適した「木育」活動のねらい

ねらいの設定などに参考としてください。

	関心・意欲・態度	ステップ1 「触れる」	ステップ2 「創る」	ステップ3 「知る」
小学校低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・森林などの自然との関わりに関心をもち、木材に対して親しみを持つことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や森林の良さを体感的に知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や森林に触れることで、知的な気づきや好奇心を持つことができる。
小学校中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や森林について、興味を持って意欲的に調べようとする。 ・木材を日常生活に取り入れようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と木材や森林を関係付けて考えることができる。 ・木材の良さを他の材料と比較して考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の良さを活かした製品を作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験に積極的に参加することができる。 ・森林の役割や、材料としての木材の特徴を知ることができる。
小学校高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の環境特性を理解し、日常生活に積極的に取り入れようとする。 ・林業や森林育成活動等へ興味を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材と他の材料の類似点や相違点を説明することができる。 ・木材の有用性や森林の多様な役割を環境や生活と関連づけて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の良さを活かすと共に、工具を適切に使用し、製作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の特徴や森林の働きを、実験や観察を通して調べることができる。 ・森林の役割や木材の利用を生活や環境との関係で理解できる。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全や循環型社会形成の観点から、木材や森林との関わりについて自ら考え行動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材利用や森林が持つ多面的な機能、役割について説明できる。 ・木材と生活、文化、歴史、環境の関わりについて理解し、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木製品の特徴を理解し、目的に応じて選択・活用できる。 ・材料の特徴や製作条件を考慮し、工夫して製作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の特徴や森林の働きを調べる方法を考え、実験や観察を通して調べることができる。 ・持続可能な社会の構築の観点から計画的な森林資源の育成と利用等の技術の必要性について理解することができる。